

議会報告

都市整備建設委員会

(平成27年12月17日)

◆高齢者居住安定確保計画「仙台市高齢者あんしん住まいるプラン」(中間案)のサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)の取り組みについて。

質問：仙台市の「サ高住」の登録件数は12月17日現在、1,325戸であり、今後平成32年までの目標は2,500戸整備するとしている。さらなる「サ高住」の供給促進のため、土地や不動産の所有者への情報提供や市民への周知を推進すべき。ホームページでの情報提供も「サ高住」の内容や事業所の一覧がわかりやすくしてはいかがか。

答弁：これまでは、事業者や入居を検討されている方々への情報提供が主でしたが、今後は、供給をさらに促進するため、「サ高住」を更に幅広く知って頂き、用地の供給も促進されるよう、これまで以上に幅広い方々への情報提供に努め、ホームページの表示の仕方にも工夫を凝らすよう努めてまいります。

◆その他の質問項目

- ・空き家やマンションの空き部屋などの活用について
- ・新規策定中の「高齢者地域ニーズ分析によるサ高住誘導指針の策定」について
- ・介護事業所や一般世帯向け賃貸住宅など地域やニーズに対応した複合型整備について

*サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)とは？

高齢者が安心して生活できる住まいづくりを推進するために、2011年に国が「高齢者の居住の安定確保に関する法律」を改正し、「サービス付き高齢者向け住宅」制度を創設。介護・医療と連携し、高齢者の安心を支えるサービスを提供するバリアフリー構造の民間賃貸住宅。

*仙台市の高齢者の状況は？

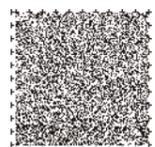
65歳以上の人口は、約22万1千人、世帯数136,600世帯。このうち一人暮らしの世帯は、34,900世帯(高齢者世帯の25.7%)。夫婦のみの世帯は37,700世帯(27.7%)。高齢者だけの世帯は72,600世帯で53.4%と半分を超えている。

◆◆皆さまの声をカタチにしました!(実績抜粋)◆◆

■八木山本町2丁目42付近の歩道は昨年整備されましたが、住民や歩行者にとって危険な箇所があり安全対策をとってほしいとの声がありました。早速、太白区道路課に申し入れ、**車止めポールとデリネーター(視線誘導標)**の設置となりました。



隣接するマンションの住民の皆様と



SPコードは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。装置は、仙台市内各区役所に設置してあります。

■羽黒台30付近バス道路沿いと同じく、28付近の**カーブミラー**2か所設置



■安全対策の**ドット線**を3か所に設置。昨年、住民より道路が急カーブや狭く見通しが悪いため、安全対策を**図**ってほしいとの声をいただきました。



1つは、鉤取本町1丁目付近の上野山小学校通学路にもなっている国道286号線の道路。2つは、市道鹿野人來田線(旧286号)から羽黒台団地に**上る**勾配のある急カーブの2か所に**注意喚起**のドット線の設置となりました。



■青山2丁目16付近の**側溝蓋**の整備



■鉤取1丁目10付近の鉤取八幡公園の**遊具**の修繕



■昨年9月の関東・東北豪雨の**水害対策**

秋保町湯向5付近の市道は、地面が低くなっているため**冠水**し、車の浸水の被害も発生しました。10年前も床上浸水の被害があり対策が取られましたが、今回を受けさらに、歩道の**側溝蓋**を20か所**グレーチング**(表面排水が目的のもの)に交換設置となりました。

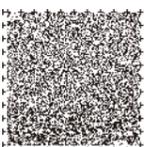


■市営住宅の風呂設備の交換を実施!!

昨年の10月から11月にかけて風呂設備交換(家賃増額)の募集を実施しました。以前は、入居者が風呂釜及び風呂桶を購入し、退去の際に撤去することになっており、入居者にとって負担が大きいため、入居者から改善のお声が寄せられました。

仙台市は平成22年から、老朽化した住宅の建てかえ等はユニットバスを整備。定期募集をする空き家の修繕においては、風呂釜と浴槽を設置しております。平成25年第3回定例会の一般質問や会派要望で既存の住宅の整備を求めてきました。今回、30戸の募集に対し11倍の申し込みがあり、今後も実施していくということです。

これからも入居者の安心安全な住まいに取り組んでまいります。



SPコードは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。装置は、仙台市内各区役所に設置してあります。